

病防第40号  
平成18年7月31日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

コブノメイガの発生状況（技術情報第9号）について（送付）

7月20日頃より、普通期水稻でコブノメイガの被害が多発しています。現在の発生状況等について下記のとおり取りまとめましたので、防除の指導等にご活用下さい。

## 記

### 1 コブノメイガの発生状況

7月中～下旬に行った巡回調査では、普通期水稻の被害葉数は0.32枚/株（平年0.19枚/株、前年0.04枚/株）と平年よりやや多かった。また発生ほ場率は70%（平年37%、前年20%）と平年より多かった。発生の程度はほ場間差が大きく、確認されたコブノメイガはほぼ老齢幼虫だった。

### 2 コブノメイガの飛来状況

天草農業研究所（天草市）に設置している予察灯（ブラックライト）では、7月5～6日に主飛来が確認され（48頭）、過去5年では平成15年並の飛来である。6月1半旬～7月5半旬現在までの飛来量は、平年（H13～17平均）よりやや多かった（表1）。

### 3 防除上の留意事項

- （1）7月5日から起算した次世代成虫発生期は8月2日頃（\*7/29現在、熊本市アメダスデータより積算）と予測される（図1）。粉剤及び液剤は発蛾最盛期から1週間後に防除を行う。
- （2）現在発生している幼虫（第1世代）の要防除水準は、被害株率20%以上、被害葉率0.2%以上である。止葉～上位3葉が激しく加害されると品質・収量へ影響するため、第2世代幼虫の若齢期に防除する。
- （3）薬剤散布にあたっては使用基準を遵守し、周辺環境等へ飛散の無いよう十分注意する。

表1 予察灯におけるコブノメイガの誘殺数(天草農業研究所:天草市)

月/半月	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	平年値 (H13~H17)	平年値 (H8~H17)
6/1	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0.0	0.5
2	0	9	4	0	49	0	0	0	0	0	0	0.0	5.6
3	0	7	23	0	8	9	0	0	0	0	0	1.8	4.3
4	0	2	14	2	13	2	1	0	0	0	0	0.6	3.1
5	0	1	17	0	1	0	2	7	0	0	1	1.8	2.6
6	0	0	4	34	3	0	4	48	1	0	2	10.6	8.7
7/1	20	0	1	28	0	0	3	36	0	3	51	8.4	12.9
2	34	3	0	8	0	0	1	6	9	14	9	6.0	7.6
3	23	20	3	32	6	4	0	1	1	14	3	4.0	9.7
4	3	10	13	1	3	34	2	0	2	0	0	7.6	6.2
5	1	3	26	2	2	2	1	3	2	0	4	1.6	4.2
6	1	3	6	1	7	0	0	35	0	2		7.4	5.5
合計	82	58	112	108	97	51	14	136	15	33	70	49.8	70.5

\*ブラックライトへの誘殺数

図1 コブノメイガ次世代予測

(熊本市アメダスデータ使用)

月	日	次世代発生予想日
7	4	
7	5	
7	6	飛来成虫
7	7	
7	8	
7	9	卵
7	10	
7	11	
7	12	第1世代幼虫
7	13	
7	14	
7	15	
7	16	
7	17	
7	18	
7	19	
7	20	
7	21	
7	22	
7	23	
7	24	
7	25	
7	26	
7	27	
7	28	
7	29	
7	30	蛹
7	31	
8	1	
8	2	第1世代成虫羽化
8	3	
8	4	産卵前期間
8	5	
8	6	
8	7	卵
8	8	
8	9	第2世代幼虫羽化
8	10	
8	11	幼虫
8	12	
8	13	

有効積算温度	发育0点
成虫 50日度	13
卵 50日度	13
幼虫 250日度	12.5
蛹 90日度	14.2
<b>合計</b>	<b>440日度 13</b>

防除適期(粒剤) → 8/2

防除適期(粉剤・液剤) → 8/9